

2014年度京カレッジ 京都力養成コース 京都学講座

京を旅する

～観光のまなざし～

開講日時 2014年5月24日(土)～12月6日(土)
10時30分～12時00分

開講場所 キャンパスプラザ京都5階 第1講義室

日本文化の中心である京都は国際的な観光地でもあり、海外からも多くの方が訪れます。そして、京都にある多くの観光地の成り立ちはさまざまです。それだけでなく、京都を訪れる交通手段や観光客をもてなす人々にも変化はあります。みなさんと一緒に、京の旅を考えてみることにしましょう。

第1回 海外からのツーリズム
5/24 (土)
～京都の人気スポットとその変容～
村田 典生氏 (佛敎大学 研究員)

第2回 「そうだ 京都、行こう。」
5/31 (土)
～これまでの20年と、これから～
安齋 辰哉氏
(東海旅客鉄道株式会社営業本部 観光開発グループグループリーダー)

第3回 修学旅行と近代京都
6/7 (土)
～奈良女子高等師範学校の経験～
高木 博志氏 (京都大学人文科学研究所 教授)

第4回 江戸時代の物見遊山
6/21 (土)
～名所案内記・日記からみる名所と都市～
塚本 章宏氏
(徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授)

第5回 旅のみやげ
7/12 (土)
～名物から見た日本近代～
鈴木 勇一郎氏
(立教大学立教学院史資料センター センター員)

実地講座 和菓子作り体験
7/12 (土)
甘春堂

第6回 旅の楽しみ
10/4 (土)
～江戸時代の京都における娯楽～
山近 博義氏 (大阪教育大学 教授)

第7回 旅と鉄道
10/18 (土)
～観光・フォークロリズムからみた京都～
斉藤 利彦氏 (佛敎大学 准教授)

第8回 旅と社寺参詣
11/1 (土)
～「名所」のはじまりはじまり～
坂井 輝久氏 (清水寺 学芸員)

第9回 旅のガイド
11/22 (土)
～京都観光ガイドの魅力～
宇川 新一氏 (京都SKY観光ガイド協会 会長)

第10回 京に泊る ホテルに泊る
12/6 (土)
～創業126年 京都ホテルの伝統と明日～
大岡 育男氏 (株式会社京都ホテル 常務取締役)

実地講座 フランス料理の楽しみ方、
12/6 (土) ワインの選び方
京都ホテルオークラ ビトレスク

京を旅する

～観光のまなざし～



江戸時代の中頃、人々は参拝や湯治などの物見遊山を行うようになりまし。これが観光旅行の始まりと考えられます。近代になると、鉄道を中心とする交通路が整備されると、より人々は旅を楽しめるようになりました。全国からの修学旅行生も、京都で学校生活の思い出を作ったことでしょう。そして、観光客が手にするガイドブックやお土産なども生まれました。現在では、国際的な観光地として京都は世界中から旅人を集めています。「おもてなし」の心は、京都から世界中へ伝わっていきます。時空を超えた京の旅へのまなざしについて、一緒に考えてみましょう。

第2回 5月31日(土)

「そうだ 京都、行こう。」 ～これまでの20年と、これから～

安齋 辰哉氏

東海旅客鉄道株式会社営業本部観光開発グループ
グループリーダー



「そうだ 京都、行こう。」キャンペーンは平成5年の秋から開始して、おかげさまで昨年秋にキャンペーン20周年を迎えました。懐かしいCMやポスターのビジュアルをご覧いただきながら、主に首都圏のお客様を京都に誘うために、私たちが何を考えてキャンペーンを実施してきたのか、これからの20年間にに向けてどのように取り組んでいるのかを、お話しします。

略歴

1993年東海旅客鉄道株式会社入社。広報部、営業本部、出版社出向などを経て2011年より現職。

第4回 6月21日(土)

江戸時代の物見遊山 ～名所案内記・日記からみる名所と都市～

塚本 章宏氏

徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
准教授



江戸時代の京都は、現代に負けず劣らず全国から人々が物見遊山に訪れる観光都市でした。現在の旅行ガイドブックにあたる名所案内記や個人の旅の様子を記した日記が、江戸時代を通して数多く作られ、それらは当時の京都観光の様子を今に伝える有用な史料となっています。本講義では、これらの史料から京都の名所の様子と、最新のデジタルマップを使いながら観光都市としての姿について、マクロとミクロの視点から迫ってみたい。

略歴

1978年奈良市生まれ。立命館大学文学部地理学科、同大学院で学び、2008年に博士(文学)を取得。日本学術振興会特別研究員(PD)、立命館大学衣笠総合研究機構ポストドクトラルフェローを経て、2013年5月から現職の徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部准教授。専門は歴史地理学・空間情報科学。

第1回 5月24日(土)

海外からのツーリズム ～京都の人気スポットとその変容～

村田 典生氏

佛教大学 研究員



京都は日本を代表する観光地のひとつで、毎年数多くの海外からの旅行者がやって来ます。彼らは京都でどのような観光地を巡るのでしょうか。また、どのようなアクティビティを求めているのでしょうか。今回は現代の京都における海外からの観光客の人気の観光スポットを紹介していきたいと思います。そして、そのような観光スポットを巡るルートがどのように形成されてきたのかという点も併せて考えてみたいと思います。

略歴

立命館大学経済学部、佛教大学文学部卒業。佛教大学大学院後期博士課程修了。博士(文学)。

第3回 6月7日(土)

修学旅行と近代京都 ～奈良女子高等師範学校の経験～

高木 博志氏

京都大学人文科学研究所 教授



明治末から大正期における奈良女子高等師範学校は、修学旅行において、本願寺や豊国神社、京都御所、嵯峨野、宇治などの社寺や名所のほかに、京都帝国大学や美術館や西陣織・清水焼の見学施設、琵琶湖疎水といった先端の学問や産業に関わる場所をめぐった。20世紀になって修学旅行の目的は、身体鍛錬から鉄道を利用した史蹟名勝をめぐる臨地教育へと変化した。京都市内の小学校における修学旅行も定着してきた。修学旅行から近代京都を考えたい。

略歴

大阪府吹田市生まれ。1988年立命館大学文学研究科博士課程修了。1998年京都大学人文科学研究所助教授。現在、教授。(主な著作)『近代天皇制の文化史的研究—天皇就任儀礼・年中行事・文化財』(校倉書房、1997年)、『近代天皇制と古都』(岩波書店、2006年)、『みやこの近代』(思文閣出版、2008年、共編)など。

第5回 7月12日(土)

旅のみやげ ～名物から見た日本近代～

鈴木 勇一郎氏

立教大学立教学院史資料センター センター員



現在、私たちが各地の観光地で見ることのできるおみやげ文化は、世界的にみるとかなり特徴的なものです。また、現在日本で見ることができるとおみやげと江戸時代の名物の間にも大きな違いがあります。本講座では近代日本のおみやげ文化の形成を、鉄道、博覧会、軍隊といった近代の装置との関わりを、八ッ橋をはじめとする京都名物、伊勢の赤福、静岡の安倍川餅といった各地の豊富な事例を通して明らかにしていきます。

略歴

1972年和歌山県生まれ。青山学院大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程修了。博士(歴史学)。専門は日本近代史。著書『近代日本の大都市形成』(岩田書院)、『おみやげと鉄道 名物で語る日本近代史』(講談社)、『近代都市の装置と統治』(共編著)(日本経済評論社)など。

第6回 10月4日(土)

旅の楽しみ ～江戸時代の京都における娯楽～

山近 博義氏

大阪教育大学 教授



江戸時代中期以降の京都は、しばしば、観光都市化したといわれています。旅の記録などによれば、当時の京都観光も、現在と同じように、神社仏閣名所旧跡めぐりが中心であったようです。同時に、当時の京都には、さまざまな店や飲食店、諸芸能の興行などもみられました。これらの施設や興行の存在は、京都を訪れた人々にとって、旅の楽しみの一つとなっていたと考えられます。この講義では、具体的な資料を示しつつ、これらの様子を紹介したいと思います。

略歴

1960年生まれ。兵庫県出身。京都大学文学部、同大学院に学ぶ。奈良女子大学文学部助手、大阪教育大学講師、助教授を経て、2005年より現職。専門分野は歴史地理学。

第8回 11月1日(土)

旅と社寺参詣 ～「名所」のはじまりはじまり～

坂井 輝久氏

音羽山清水寺 学芸員



中世末期から近世初頭のころ、私たちが今日言うところの「名所」が現れてきます。その「名所」が詰まった都市として京都が眺められるようになり、中心となったのが神社仏閣でありました。「名所」へいざなうメディアも次々と登場してきます。参詣曼荼羅、洛中洛外図、名所記、案内記といったものです。そうしたメディアを紹介しながら、清水寺を一つの典型として「名所」の展開と旅の広がりをつたえていきます。

略歴

1948年福井県生まれ。京都大学文学部卒業。1973年京都新聞社に入社し、報道局文化報道部文化担当部長、報道局文化報道部編集委員を歴任。09年4月から京都市京都創生アドバイザーを務めた後、12年4月から清水寺学芸員。

第10回 12月6日(土)

京に泊る ホテルに泊る ～創業126年 京都ホテルの伝統と明日～

大岡 育男氏

株式会社 京都ホテル 常務取締役



京都のホテルの最初は明治元年に開業した祇園の中村屋です。その後、明治21年には今の京都ホテルに続く京都常盤が鴨川二条大橋西詰に開業します。京都常盤は河原町二条の政府施設跡の払い下げを受け、明治23年にKIOTO HOTELとして新築の洋館ホテルで再スタートします。ロシアのニコライ皇太子がこのホテルにお泊りになり大津事件に遭遇したことは国際的な大事件でした。大正14年には京都で初のロータリークラブが京都ホテルで設立されました。時代と共に歩んできた京のホテルの歴史を中心にご紹介いたします。

略歴

1948年/東京生まれ。1976年/京都ホテル入社。1994年/営業推進部長、2001年/取締役、東京営業部長、2003年/社長室長、2005年/販売促進部長、2006年/からすま京都ホテル総支配人、2007年/監査室長、2010年/組織運営管理、2012年/常務取締役。

第7回 10月18日(土)

旅と鉄道 ～観光・フォークロリズムからみた京都～

斉藤 利彦氏

佛教大学歴史学部歴史文化学科 准教授



近代の鉄道網の整備、郵便制度やメディアの発展により、各地の民俗行事や民俗芸能が“発見”され、“郷土”が創られていきました。昭和50年代、国鉄の“ディスカバリー・ジャパン”によって、再び鉄道は人々に“郷土”“故郷”を意識させます。そのなかで、京都は「日本のふるさと」というイメージのもと、一大観光地になっていきます。観光の史的背景にある技術史とメディア史との関係や、京都と京都観光、そしてフォークロリズムの関係について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

略歴

1971年兵庫県生まれ。佛教大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。博士(文学)。著書『近世上方歌舞伎と堺』(2012、思文閣出版)、『近世堺と歌舞伎』(2009、大阪公立大学共同出版会)、共著に『京の歳時記今むかし』(2006、平凡社)など。

第9回 11月22日(土)

旅のガイド ～京都観光ガイドの魅力～

宇川 新一氏

京都SKY観光ガイド協会 会長



京都に来られる観光客は子供から高齢者まで年齢的に幅広く、四季折々の京都の魅力に憧れて度々お越しいただく方が多い。また将来のリピーター客としての修学旅行生も年間約100万人が来てくれています。私達のガイド協会は日本人の観光客を対象に京都の観光ガイドを行っておりますが、日頃のガイドを通じて感じる観光客の様子、またガイドの魅力をお伝えし今後の京都の観光客増加に寄与したい。

略歴

1944年 大阪市生まれ。戦後に京都に引越し伏見高等学校卒業
2004年 金融機関を定年で退職後に当ガイド協会に入会
2011年 京都SKY観光ガイド協会副会長就任
2013年 京都SKY観光ガイド協会会長就任

実地講座 7月12日(土)

和菓子作り体験

場所 甘春堂

この実地講座では、第5回講座「旅のみやげ」で取り上げる「みやげ」作りを体験します。慶応元年(1865年)創業の甘春堂で職人さんに伝統の京菓子作りを教わります。できあがった季節の和菓子はお抹茶といっしょにいただきます。また、佛教大学歴史学部八木透先生に同行していただき、祇園祭とお菓子のお話も伺います。

実地講座 12月6日(土)

フランス料理の楽しみ方、ワインの選び方

場所 京都ホテルオークラビトレスク

京都ホテルオークラ17階にあるフレンチレストラン「ビトレスク」で、料理長よりフランス料理の楽しみ方を、ソムリエからはワインの選び方のお話を伺います。京の街や東山が望める落ち着いた雰囲気の内店で、四季の素材を生かしたフランス料理とワインを心ゆくまでお楽しみください。

本講座は大学コンソーシアム京都が提供する京（みやこ）カレッジの講座です。全10回のリレー講義で、1講座ごとの受講もできます。下記のいずれかの申込み方法をお選びください。

京カレッジ生としての受講申込み

※詳細については2014年度京カレッジ募集ガイドでご確認ください。

- 1 受講料：10,000円（全10回）
- 2 必要書類
①京カレッジ出願票
②京カレッジ会員証用写真1枚（縦3cm×横3cm）
- 3 受付期間
①郵送 3月8日（土）～3月22日（土）必着
②持参 3月19日（木）～3月22日（土）10時～16時
③Web 3月15日（土）～3月21日（金）
- 4 提出先・募集ガイド請求先
〒600-8216
京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都
大学コンソーシアム京都 教育事業部（京カレッジ担当）
電話：075-353-9140
- 5 受講許可通知
定員（250名）を超過した場合は、抽選により受講可否を決定いたします。結果につきましては、4月下旬頃郵送にてお知らせいたします。受講料の支払方法、実地講座の申込方法等も併せてお知らせいたします。
- 6 実地講座
◇ 7月12日（土）13：45～15：00
定員40名（参加費：2,160円）
◇ 12月6日（土）13：30～15：00
定員35名（参加費：8,000円）
※申込者多数の場合は、抽選とします。

1講座ごとの受講申し込み

興味・関心のある講座のみ、1講座ごとの受講ができます。

- 1 受講料：1,500円（1回）
- 2 受講申込方法
当日、開講場所受付でお申込みください。
- 3 実地講座
実地講座の申込みはできません。

大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の正規学生（大学院生・専攻科生・通信教育課程生を除く）及び放送大学京都学習センター全科履修生の場合

「京カレッジ生としての受講」、「1講座ごとの受講」のいずれの場合でも受講料は無料です。

- 京カレッジ生としての受講申し込みの場合
京カレッジ出願に必要な書類に加えて、学生証のコピーも併せてご提出ください。
実地講座に参加の場合、参加費は必要です。
- 1講座ごとの受講申し込みの場合
当日、学生証を持参してください。

◆個人情報の取扱いについて

個人情報は事務局が責任を持って管理し、受講に関する書類送付や講座運営、ならびに公益財団法人 大学コンソーシアム京都が主催する催事等のご案内以外には使用いたしません。

京カレッジ 会員特典

「京カレッジ会員証」を用いて大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学の一部の図書館が利用できます。
※詳細は2014年度「京カレッジ生募集ガイド」をご参照ください。

お申し込み・お問い合わせ先



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

教育事業部（京カレッジ担当） TEL 075-353-9140
〒600-8216
京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都
（火曜日～日曜日 9：00～17：00 / 月曜日休館）
ホームページ：http://www.consortium.or.jp/
E-mail：miyakare@consortium.or.jp

